

ちゅうしゅう めいげつ  
**中秋の名月**

今年は9月17日(火)が中秋の名月でした。月は年中見ることができますが、秋の空気は水分量が少なく乾燥しているため、空気が澄んでいて、月がはっきりと夜空に映し出されるようで、“中秋の名月”と呼ばれるそうです。ところで、この日が必ず満月とはならないそうです。今回は9月18日(水)が満月でした。

この日には真ん丸のお団子(月をイメージ)と、ススキを飾る風習も地域によってはあります。

ススキには邪気を祓う力があるとも言われています。皆さんの幸せを願う意味も込められています。我が家でも“名月”を楽しみました。



(夕食に団子)



(2階の窓からの名月)



(孫3人、公園でのお月見)

せんせい しどうりょく たか  
**先生たちも指導力を高めています**

9月13日(金)に3年2組で5時間目に数学の研究授業を行いました。学校外から数学科のスーパーティーチャーに来ていただき、「2次方程式」の解き方について勉強しました。この授業をもとに、荒尾市で取り組んでいる「進化型あらおベーシック」の授業を効果的に進めるにはどうしたらよいかを職員で協議しました。授業で出した問題を紹介します。ご家庭での話題にしてみてください(※授業では“解の吟味”が必要ですと言われました)。

縦が11m、横が10mの長方形の土地に、縦と横に同じ幅の道路を作り、残りを畑にします。畑の面積を90m<sup>2</sup>にするには、道路の幅を何mにすればよいでしょうか？



## 部活動の地域移行について

9月18日(水)の熊日新聞の「市議会」【荒尾市】のところに以下の記事が載っていました。(抜粋)

市は、中学校部活動の地域移行についても報告。休日については、来年度の主要大会終了後、指導者と活動場所が確保できた競技から順次移行するとした。

荒尾市では、令和5年度から「荒尾市児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動在り方検討会」が教育委員会内につくられ、検討を重ねています。現在の方向性を年度当初や、前年度の新入生説明会の時にいたしました。再度この機会に確認します。

現在中学校の部活動は運動系、文化系とも学校部活動として活動しています。原則、「月～金のうちの4日間と土・日どちらか一日が活動できる」となっています。この部活動が来年度から土・日は地域活動になります。そこで荒尾市では昨年度、学校を通して現在の1年生には中学校体験入学時に地域移行についてお知らせし、「公立中学校の部活動における休日の地域移行について」が配付されました。移行まで1年を切りましたので、再度、その概要をお知らせします。特に1年生が関係ありますので、確認をお願いします。

まず、来年度の中体連大会が終わった7月から土・日の学校部活動はなくなります。

平日の月曜日から金曜日のうちの4日間はこれまで同様の学校部活動ですが、土・日は学校部活動でないため教職員の担当は基本つきません。したがって、土・日の活動や中体連大会以外の大会は出場できないこととなります。しかし、外部指導者がいれば、活動することができますし、大会にも出場することができます。

競技者が少ない競技等は、荒尾市の1つの中学校を拠点として活動する「拠点校部活動」として、活動することもできます。その場合、教職員は平日のみ(外部指導者が指導してもよい)、土・日は外部指導者で活動することになります。

これは、荒尾市教育委員会が認めた競技になります。しかし、現在認定された競技はまだありません。

あくまでも、来年度7月から完全に学校部活動がなくなるのではなく、土・日に限ってということになりますので1年生の保護者の皆様、ご理解よろしくをお願いします。

また、外部指導者として土曜日か日曜日に指導ができれば方を各部活動の保護者の方で探していただくと幸いです。

